

# 学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法

【平成28年5月23日実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	学校関係者評価委員の評価点(平均点)	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				
1 教育 理念人・材 目像 的・	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	理念・目的は学生便覧や入学案内に明示している。 学校法人東京滋慶学園では、「職業人教育を通じて社会に貢献する」をミッション(使命)に掲げ学校運営を行っている。入学生を希望する業界に送り出すために、「3つの理念」(①実学教育、②人間教育、③国際教育)を実践し、「4つの信頼」(①学生からの信頼、②高等学校からの信頼、③業界からの信頼、④地域からの信頼)を得ることを目標として取り組んでいる。	理念・目的・育成人材像を明確に定めており、各会議、研修等で広く周知を図っている。 また業界ニーズの変化をいち早く吸い上げ、それに応えるカリキュラムの構築も行なっている。 養成目的:卒業後およそ3年(または業界から求められる人材像)の姿 教育目標:卒業時の到達像	3.0	・教育理念、目的、育成人材像が明確であり、学生の卒業時の到達像に応えるカリキュラムの構築、その向上に努力が見られる。 ・教育理念、目的、育成人材像は3つの理念に基づき取り組まれています。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	業界の人材ニーズに重点を置いて、関連業界から協力を得て、業界の協力を得ている。現在、業界で活躍されている方に教えて頂くことにより、現場で必要な技術と知識がわかる。また、業界調査を行い、業界のニーズにあった人材育成に取り組んでいる。			
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	カリキュラムを見直しの際に教育課程編成委員や講師会議等で頂いた案などを反映し、様々な教育システム・プログラムを導入している。学内・学外での研修も多く、質の向上を目指している。			
2 学校 運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3	事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして共感を得ることに力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・科目別会議等)で行い、全教員が積極的に学校運営に携わる環境作りを行うためである。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に社会のニーズに対応した事業計画・運営方針を定め実行を徹底している。		3.0	・理念に沿った学校運営が計画的に実行されている。 ・組織目的を明確に実行を徹底されています。情報もシステムも整備されています。
	3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3	「次年度の事業・収支計画は、既に今年作る次年度の報告書であり決算書である」という考えのもと、本学園の事業計画は作成されている。具体的には過去から現在に至る数字を考察し、また1年後、3年後または5年後には社会がどのように変化しているか市場調査を行い、科目別に作成をしている。	事業計画に沿った運営ができていのかどうかのチェック機能として、問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。		
	4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3	事業計画の中で明確に定められている。 組織目的を明確にし、職務分掌として個人の責任と目標を設定している。			
	5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3	学園本部が採用を担当し、採用者の適性を見て各校に配属している。また賃金などに関しても本部が一括管理して評価についても一元化している。	目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかの視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしている。		
	6-1 意思決定システムを整備しているか	3	各会議は、会議の位置づけ、会議日の告知、会議の進行の仕方を、事業計画においても明確化している。重要なことは、学校運営が滞りなく行われることである。学校運営で生じる様々な問題を早期に発見し、解決策を立て、実行することである。迅速な意思決定ができるシステムになっている。	会議は主に以下のとおりである。 1. 法人理事会・評議員会(最高決議機関) 2. 学校戦略会議(運営方針の起案会議) 3. 法人学校運営会議(運営方針の問題を発見・対策立て会議) 4. 運営会議(学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議) 5. 学校全体会議(決定事項の周知) 6. 学校学科会議・部署会議(部署の問題解決会議) 7. その他(各種委員会会議、グループ各委員会会議など)		
	7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	「専門学校基幹業務システム」を構築してコンピュータによる情報システム化を行っており、学生の情報処理(教育・就職・学費入金)の一元管理、退学防止及び就職支援とつながっている。	出席状況の入力へのタイムラグをなくす為に、ipadでの出席入力導入によりオンタイムで出席状況が分かるようになっている。		

# 学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法

【平成28年5月23日実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	学校関係者評価委員の評価点(平均点)	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				
3 教育活動	8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	入学前、入学後から卒業後まで一貫したフローのカリキュラムを構築。科目の配置はMMPプログラムによる。また業界情報や学科情報を反映させ、教育課程編成委員からの意見を反映し、業界ニーズに応えたカリキュラムを編成している。 * MMP・・・モチベーション(動機付け)・ミッション(使命感)・プロフェッショナル(職業的な智慧)	人材ニーズの変化や業界そのものの変化に伴う学科の養成目的/教育目的の見直しやカリキュラムの再構築のために、FDCを置いている。FDCは教育力(1.計画:カリキュラム、2.運営:授業、3.評価:試験フィードバック)向上のための教育改革項目について分析し、改革案を作り、改革実施を評価し、修正提言をする役割を担う。 * FDC・・・ファカルティ・デベロップメント・コーディネーター「教員能力開発」	3.0	・教育活動の評価項目が明確であり、自己評価が適正に行われている。 ・理念に沿った教育課程で行っており、目的を持って明確です。
	9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	養成目的は卒業してから3年後、教育目標は卒業段階としそこから学年ごとの目標を定め、かつ科目ごとや1コマの授業まで到達目標を設定している。	学生便覧に明記し、科目ごとの目標シラバス、授業ごとのコマシラバスを配布し到達目標を必ず伝えるようにしている。		
	10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	実習・定期試験・試験の欠席者・欠席日数の規定も含め、成績評価及び単位認定の基準は明確に定めている。	授業履修時間も含めて、基準の遵守をしている。		
	11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	まず入学選考の段階で資格要件を確認している。 また卒業次を目標とした教育目標として明記するとともに、学年目標の中にも段階を得て歯科衛生士国家試験に合格できるよう到達できるカリキュラムを構築している。			
	12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	科目担当とは、連絡会を設け、資格、経験の確認をして、FDCを中心に確保している。	同窓会ネットワークを活かし交流を図っている。		
4 学修成果	13-1 就職率の向上が図られているか	3	入学した全学生を第一専門職の職種で就職させるためにキャリアセンターを設置している。 本校ホームページから求人検索ができるシステムがある。	キャリアセンターの活動は、入学前の学生への対応から始まっており、仕事のイメージを持って入学できるように指導している。また在校生へは、面接時におけるスキル向上の指導や筆記試験対策を実施したり、業界模擬面接や学内企業説明会を通して、就職に対する意識を高めている。	2.6	・学修成果の点検、評価項目が的確であり、キャリアセンターを中心とした活動が適正に行われている。 ・100%国家試験合格に向けて更なる取り組み、教育活動に期待します。 ・100%の合格率を目指すように努力しているが低学力者の補習などタイミングを確認してフォローが必要。 ・同窓会DT、DHとの合同(英会話や実習)組織作りの充実を図る。(DH)→facebook
	14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3	100%国家試験合格に向けて、全ての取り組み、教育活動はできている。	国家試験対策も最終的には個別対策が必要となり、それは生活改善と関係し、学習支援は生活指導と直結する。学習習慣を身につけることが必要と考えている。WEB上で勉強可能なシステムが構築されている。		
	15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3	キャリアセンターを中心に業界へ訪問して情報を収集している。 卒業後1年未満の卒業生に対し、離職調査をしている。	卒業後1年未満の卒業生には年度末にアンケートを行い、離職をしていないか、問題はないか、今後も継続できる就職先かなどの調査をおこなっている。また同窓会を通じ、業界の声を聞き、卒業生の活躍の情報を得ている。		
5 学生支援	16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	組織体制は整備されている。キャリアセンターを設置している。 例年の求人状況や採用活動のスケジュールと、学生のモチベーション等を確り年間指導計画を立てている。さらに2週間に1度の頻度で担任とキャリアセンターで学生の状況を共有し、就職活動状況の把握をしている。	自宅からも求人票が見れるようにWeb上でアクセス可能なシステムがある。		・学生支援として就職等進路に関する体制、学生相談に関する体制、学生の経済的側面に対する支援体制について教職員全員がカウンセリングの基本を学ぶ研修を受講しており、一定の対応ができるようになっている。
	17-1 退学率の低減が図られているか	3	毎年数字目標を掲げ、学科長やFDCを中心に学生支援に取り組んでいる。 問題学生の分類や、モチベーションアップのための支援策や、システム整備のほかにも、担任の支援・育成のための研修プログラムも実施している。			
	18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3	専任カウンセラーを置き、いつでも対応できる状況を作っている。学校の全職員がカウンセリングの基本を学ぶ研修を受講しており、一定の対応ができるようになっている。	教職員全員が、カウンセリングマインドを持ち学生支援を行えるよう研修会&カウンセリング資格制度を実施。特に、カウンセリング研修では学園内組織(滋慶教育科学研究所)が主催する「JESCカウンセラー資格」を全員に受講させ試験を実施することでカウンセリング技術の均一化を図る。 心理学/カウンセリング基礎知識習得を行うことで、学生相談室との連携が非常にスムーズになっている。		

# 学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法

【平成28年5月23日実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	学校関係者評価委員の評価点(平均点)	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				
	19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3	日本学生支援機構をはじめとした各種奨学金制度を紹介し、また、家計急変など、緊急応急として対応している。分納制度については整備している。減免についてはその都度、学校責任者と相談し決定している。情報は提供し、計画も相談に応じて実施している。		3.0	
	19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3	学校医は選任されている。保健室は整備されており、事務部職員が配置されている。健康診断を100%が受診している。再検査が必要な学生に対し、医療人として必ず受診するよう指導し、インフルエンザの予防接種もサポートしている。	インフルエンザ等感染症の対応に関する指導、報告を強化し、情報を共有できる報告シートを活用している。		
	19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	学生寮や学生専用マンションを運営する企業とも連携を進め、学生が生活しやすい環境や条件を整備している。	学生に対する一人暮らしセミナー等を実施している。		
	20-1 保護者との連携体制を構築しているか	3	入学前に保護者会を開催し、保護者との連携が必要であることを告知。学校と保護者の両面から学生一人ひとりを支援していく事を伝えている。成績不良、出席率の低下などが見られた場合には、すぐに保護者と情報を共有している。			
	21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生を対象に、再就職相談、定期的に講習会や講演を行い、現場復帰セミナーを実施し支援を行っている。卒業生に研究活動のための施設設備の優先的に使用を許可している。			
6 教育環境	22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	新校舎へ移転し、最新の設備での教育環境が整っている。		3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎への移転に伴い施設、設備の充実が図られている。</li> <li>・学外実習、インターンシップ、海外研修の充実が図られている。</li> <li>・防災に対する組織体制、非常用キットなど災害時の訓練も適切に行われている。</li> <li>・両校揃っての恵まれた環境を生かし他職種協働等さらなる進展を望む</li> <li>・海外英語力が低い「英語で話そう」</li> <li>・インターンシップ、活躍する先輩の見学など自ら進んで行うと良い。</li> </ul>
	23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	学外実習・インターンシップ・海外研修を行うことで、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の全てと関わることになり、その教育効果は大きいものと考えている。	7つの現場実習による実学教育をおこなっている。 ①歯科医院 ②大学病院 ③高齢者施設 ④障がい者施設 ⑤保健所・保健センター⑥小学校 ⑦幼稚園 平成27年度海外研修実績(ハワイホノルル) 6月14日～6月20日 9名参加。		
	24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	実際の災害で対応できるように、マニュアルを整備している。災害時の対応を映像にまとめ、新任講師にも必ず研修を行っている。昼間部と夜間部を設置しているため、それぞれの時間帯を想定して訓練を実施、また職員には訓練開始まで役割を知らせずに行うなど、常に実際の災害を想定した訓練を行っている。	「非常用キット」を全学生数分+α備えており、万が一の場合の3日間分の食料、水、防寒への対策を立てている。		
7 学生の募集と受け入れ	25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	3	広報活動は入学前教育という位置づけにしており、受験生の①職業適性の発見・開発②目的意識の開発の支援をしていく重要なプログラムであるという考えである。入学事務局と教務部が一体になり広報活動にあたっている。滋慶学園広報倫理規定グループの理念に基づいた募集開始時期、募集内容(推薦入試による受け入れ人数等)を遵守している。		3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の募集と受け入れの点検、評価項目についての自己点検、自己評価が的確に実施されている。</li> <li>・将来～みたいなDH</li> <li>～を学びたい(予防、ペリオ、審美、インプラント)</li> </ul>
	26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	毎回、面接・適性試験・書類選考を基準に議事録をとり、合否を判定している。			
	26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	適切に管理している。入学者のデータを分析しカリキュラムに反映している。	入学者の事前データを基にクラス編成の参考にしたり、学生指導に活用している。		
	27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	学納金は学科の教育目標達成(卒業時の到達目標)を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費(講師・教職員)、実習費、施設管理・運営費等に当てられている。諸経費に関しては、毎年教材及び講師の見直しを行っており、無駄な支出をチェックしている。その上で金額の見直しを実施している。			

# 学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法

【平成28年5月23日実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	学校関係者評価委員の評価点(平均点)	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1					
8 財務	28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3		安定している。 通常の運営においては、5ヵ年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	以下のチェック機能がある。 事業計画(財務計画・収支予算書) 1. 学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 2. 四半期ごとの学園本部によるチェック 3. 修正予算の作成: 学園本部によるチェックと理事会・評議員会による承認 4. 計算書類の作成と学園本部によるチェック 5. 監事および公認会計士による監査 6. 決算書類、事業報告書の理事会・評議員会による承認	3.0	・財務については中長期的事業計画を毎年立てて、その中で収支計画を作成し、健全な財務運営が実行されている。 ・しっかりされています
	28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3		5年を見越した中長期的事業計画を毎年立てその中で収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするためにより現実に即した予算編成になっているものとする。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	内部監査を設置し、第三者視点で2016年も実施するなど厳しくみている。		
	30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3		私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。	現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えられる。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。		
	31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3		「財務情報公開規程」を作成し、財務情報の公開にあたって必要最低限の項目を定め、具体的な事項については「情報公開マニュアル」を作成して、対応にあっている。	「財務情報公開規程」では、目的、管理、公開対象書類、閲覧場所・時間、閲覧申請方法を規定している。すなわち、情報公開に必要な最低限の事項を定めている。		
9 法令等の遵守	32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りはできている。 また教職員への啓発として、法令や設置基準の遵守に対する教育または研修を実施している。		3.0	・法令等の遵守については適格に実施されている。 ・法令順守に基づいています。 ・自己点検、自己評価を積極的に実施していることは好ましい。
	33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3		学校内学校内に個人情報保護取扱委員会を設置している。 外部機関の日本フライング・認証機構よりライセンス・認証を獲得し、TRUSTeプログラムの基準を満たしている。また毎年個人情報保護管理状況についての検定を受け、ライセンスを更新し、ホームページ上に明記している。			
	34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3		私立専門学校等評価機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施している。	毎年5月に定められた委員会により、学校全体で取り組んでいる。		
	34-2 自己評価結果を公表しているか	3		私立専門学校等評価研究機構の基準に準じて自己点検・自己評価を実施しており、結果をホームページ上で公表している。			
10 社会貢献	36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3		業界・卒業生に施設設備の貸出を優先的におこなっている。また、業界・行政からの要請があった場合にいつでも協力する準備はある。 AEDを設置しており、緊急の際には地域の方にも使ってもらえる用意がある。		3.0	・社会貢献については学校独自の計画により積極的に活動が行われている。 ・すばらしいです
	37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3		「歯科医師会主催の地域保健事業に参加し、口腔ケアに対する意識の向上に貢献している。地域清掃を毎週火曜日に教職員、学生で実施している。			
国際交流	38-1 国際交流に取り組んでいるか	2		毎年、学生の海外研修を実施し、国際交流に取り組んでいる。 留学生の受け入れを実施している。	平成27年度海外研修実績(ハワイホノルル) 6月14日～6月20日 9名参加。 アメリカ(ハワイ) 9名参加。	2.9	・海外研修や留学生の受け入れなど日々充実が見られる。今後一層の充実のための体制の構築を強化してほしい。 ・英会話 ・ハワイにて実施ということで学生が貴重な体験できるよう望む。

## 学校関係者評価委員会のご意見に基づく改善方針

※ FDC(Faculty Development Coordinator)各学校毎に教育力【1. 計画:カリキュラム 2. 運営:授業 3. 評価:試験フィードバック】向上のための教育改革項目について分析し、改革案を作り、改革実施を評価し、修正提言する。